



JAMCA ニュース

No.90

2016年7月1日

発行
協会事務局

編集事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町 31
グイップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

建学の精神について

北九州自動車大学校 理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

中村 文彦

永年、全国自動車大学校・整備専門学校協会（JAMCA）の理事として多大な貢献をしていただいた岡山自動車大学校の学園長原田三代治様が先日ご逝去されました。ここにご冥福をお祈りいたします。

本学の創立者も永年協会の役員として携わっていましたが、志半ばにして他界してはや二十数年が経ちました。学園を創立して十年目に「教育のあじ・仕事のあじ」と言う本を出版して、その中に教育に対する想い、建学に対する精神が記されています。私は入学式では創立者の想いを話す事にしています。それは新入生とともに職員にこの事を再確認していただきたいからです。私学は創立者の打ち立てた建学の精神を教育の場で具現化することであると思っています。昨年職員からその本を是非よんでみたいとの要望で覆刻し、全員に配布しました。

その本の一部を紹介しますと、創立者が傾倒された一人に幕末に大分県日田に私塾を興した広瀬淡窓先生の事が記されています。淡窓先生は咸宜園という私塾を興し、全国各地から先生を慕って集って来た書生に対して



次の様な詩を詠んでいます。

休道他郷多苦辛
同袍有友自相親
柴扉曉出霜如雪
君汲川流我拾薪

あえてこの意味を述べますと、遠く故郷を離れて他国の空で勉強する身には辛い事も苦しい事も多かろうが、それを口にして淋しがる事はやめよう。志を同じくする友達仲間がいてお互いに親しみ慰め励ましあって勉学修行に努めているではないか。寒い冬の曉に起きて出て、柴の折戸を開けば霜が雪のように白い。さあ朝の自炊だ、君は前の川から水を汲んでこいよ、僕は後の林から薪を拾ってくるよ。共に手をとりあって仲良く力を合わせて勉学の道

にいそもうではないか、という意味です。

今まさに世界が混迷しているこの時こそこのような若者を育てていくべきではないでしょうか。

また淡窓先生は教育方針として次の様な歌も詠まれています。

「鋭きも鈍きも共に捨てがたし
錐と槌とに使い分けなば」

私も先生方にこの精神にもとづき教育を行って欲しいとお願いをしているところです。

ちなみに私共学園の建学の精神は「ノバ・フロンティア」（新開拓者）・「自主独立」の精神ですが卒業生から「ノバ・フロンティア」精神で頑張っていますと言われるとうれしい限りです。この精神を脈々と受け継いでいって欲しいと願うばかりです。

CONTENTS

2面	スリムラインタイヤ～モビリティの新たな選択肢
3面	クルマ大好き！、活躍!! 卒業生
4面・5面	インテリジェント・モビリティ -クルマの知能化による未来の交通社会
6面・7面	協会トピックス・地区通信
8面	私の教材活用・お知らせ・編集後記